

がん化学療法レジメン登録票

新規レジメン登録の際にはプロトコルの提出が必須です
プロトコルがない場合は参考文献を提出してください

レジメン名	レンビマ(肝細胞癌)
診療科名	腫瘍内科
診療科責任者名	大山 優
適応がん種	切除不能な肝細胞癌
保険適応外の使用	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

がん治療ワーキンググループ使用欄	
登録番号	He-6
登録日・更新日	2018年4月24日
削除日	
出典	レンビマカプセル適正使用ガイド
入力者	宮川 慧子

投与順に記入(抗がん剤のみ)

	薬剤名	規格	投与量算出式	ルート	投与時間	施行日
No.1	レンビマカプセル	4mg	※	<input type="checkbox"/> IV <input type="checkbox"/> DIV <input type="checkbox"/> IVHポート <input type="checkbox"/> 側管 <input checked="" type="checkbox"/> その他(経口)	1日1回	連日

1コースの期間	設定なし
投与間隔の短縮規定	該当しない
計算後の投与量上限値	110%
計算後の投与量下限値	50%
減量・中止基準	<p>・開始用量 開始 12mgを1日1回投与 8mgを1日1回投与 1段階減量 8mgを1日1回投与 4mgを1日1回投与 2段階減量 4mgを1日1回投与 4mgを隔日投与 3段階減量 4mgを隔日投与 投与を中止</p> <p>高血圧 ・収縮期血圧140mmHg以上又は拡張期血圧90mmHg以上:投与継続、降圧剤投与 ・降圧治療にも係らず、収縮期血圧160mmHg以上又は拡張期血圧100mmHg以上: 収縮期血圧150mmHg以下及び拡張期血圧95mmHg以下になるまで休薬。投与再開する場合、1段階減量 ・Grade 4:投与中止</p> <p>血液毒性・蛋白尿 ・Grade 3:本剤の投与開始前の状態又はGrade 2以下に回復するまで休薬する。 投与を再開する場合、初回の副作用発現時は減量せず、2回目以降の副作用発現時は1段階減量する。 ・Grade 4:本剤の投与開始前の状態又はGrade 2以下に回復するまで休薬する。 本剤の投与を再開する場合、1段階減量する。</p> <p>その他の副作用 ・Grade 2 投与開始前の状態もしくはGrade 1以下に回復するまで休薬する、又は本剤の投与量を1段階減量して投与を継続する。 本剤の投与を再開する場合、1段階減量する。 ・Grade 3 投与開始前の状態又はGrade 1以下に回復するまで休薬する。本剤の投与を再開する場合、1段階減量する。 ・Grade 4(生命を脅かさない臨床検査値異常の場合は、Grade 3の副作用と同じ処置とする) 投与中止。</p>
前投薬	なし
その他の注意事項	<p>※体重60kg以上の場合は12mg、体重60kg未満の場合は8mgを1日1回 ・Child-Pughスコア7~8の肝機能障害を有する肝細胞癌患者に対する最大耐用量は1日1回8mg ・レンビマカプセル10mgには切除不能な肝細胞癌への適応がないため使用不可</p>

記入者	宮川 慧子
確認者	大山 優